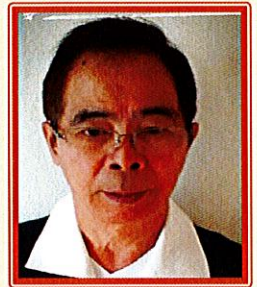


きずな

〒273-0005 船橋市本町 2-7-8 福祉ビル 3F 船橋市ボランティアセンター内 ☎

「新型コロナウイルス」の影響と感染防止対策



会長
小川廣夫

3月1日に船橋市内で、初めて新型コロナウイルス感染者が確認されました。市では感染の拡大を防ぐため全力で対策に取り組んでいます。残念ながらボランティア連絡協議会のイベントにも影響が出ています。

私たちの年間三大イベントである「第18回・障がい者・ボランティア交流の集い」が令和2年3月14日（土）に西部公民館で開催予定でしたが中止になりました。アトラクションで参加予定でした「誠光園」「けいよう」並びに「大久保学園」の皆様方には大変ご迷惑をお掛けしました。心よりお詫び申し上げます。この騒動が一日も早く終息することを祈念しています。

※市社協における新型コロナウイルス感染症対策について（令和2年3月26日現在）の状況をご連絡いたします。

●新型コロナウイルス感染症拡大予防対策として、市社協・ボランティアセンターにおきましては、関係団体やボランティアの皆様にご注意喚起等をお呼び掛けています。

●2月20日に各地区社協に対して、その事業・活動や会議は中止又は延期の通知をしたところであります。

ボランティア活動を予定していた皆様には随時活動休止のご案内をさせていただきましたが、その決定にご理解をいただき感謝申し上げます。

事業・活動の再開等につきまして、適宜お知らせさせていただきます。ご協力をお願いします。



第39回「千葉県ボランティア連絡協議会の集い」報告

会長：小川廣夫

1/26～27に勝浦スパホテル三日月で恒例の「千葉県ボランティア連絡協議会の集い」が行われました。そのご報告をいたします。開会セレモニーの後、分科会で障害者向けのスポーツで「ボッチャを楽しもう」の会（20人）の中に幸いにも潜り込む事が出来ました。「ボッチャ？」・・・馴染の無い競技ですが、パラリンピックの中に組み込まれている障害者のパラスポーツとして伝承されて行く様です。今後我々ボランティア活動の中で触れ合う機会が増えてくるのでは・・・と期待されております。

※実技とルールを覚えながらの約3時間の研修は意外と面白くて参加者全員が勝敗のゆくえに熱中症の症状。堪能する前に消化不良のまま。The End.

※ボッチャの目的・・・共生社会の創生
公的サービスに頼れない生活
ボランティアに頼れない人生（重度障害者）
ボッチャを通じて地域住民とのコミュニケーション
再発見につながる 出会い・・・知り合う・・・会話理解



（連絡協議会の集い：全体会議）

（ボッチャ体験）



亀山幸吉先生の講演要約

高齢者・障がい者とのお付き合いの中で、人間性の尊厳を生かしつつ各種あらゆる場所・時間により色々な言い回しをすることによって信頼関係を得られます。一例として

- ・ そのあめ玉ちようだい
 - ・ 物を捨ててくれない
 - ・ オムツとオツムの因果関係
 - ・ お芋が嫌いななの？
 - ・ このクソババア！
 - ・ おっぱいが泳いでるよ
 - ・ 坊や・・・
 - ・ コミュニケーションの工夫を
 - ・ 新人ヘルパーさんの過ち
 - ・ 同じ目線は対等の関係
 - ・ パンダみたいに笹の葉を
 - ・ うんこ学入門
 - ・ 「ちよっと待って」のひとことから
 - ・ あなたのオチンチン何色
 - ・ 掃除や家事援助、簡単そうで難しいですね
 - ・ 役に立たないと勝手に決めないで！
 - ・ 同じお世話でも、あなたの世話は、余計なお世話？
 - ・ 「秘密」といって、伝わる「秘密」は、秘密なの？
 - ・ 刺身とカイワレが食べたい
 - ・ 年上の方を敬って！？
- ※これらの言葉の背景・意味・内容はボランティアセンターにお問い合わせください。それらが理解できる小冊子を用意してあります。



※皆様方がお付き合いをさせて頂いている利用者の中には、目や耳が不自由な方もいらっしゃるかもしれません。そんなとき、点字や手話を覚えなければならないのかしら、と思われる方がいるかもしれません。しかし、そればかりがコミュニケーションを図る手段ではありません。

傾聴とは、耳と目と心を使って話をしっかり聴き、相手の心に寄り添うこと。更に傾聴とはただ聞くのではなく、相手の話に関心を持って心を傾けて聴くことです。

私は現在小学校にて将棋指導、高齢者施設にて訪問対局、公民館にて将棋指導等を実践していますが、今まで、なんとなく、はっきりと意識せず5年が過ぎました。今回亀山先生の講演を聴き、今後ボランティア活動において傾聴の大切さを持って活動をしていきます。

「シニアボランティア研修会」に参加して

NPO 法人コミュニティサロン・あまやどり スタッフ：額田 千波

「NPO 法人コミュニティサロン・あまやどり」のお手伝いをさせて頂くようになって4ヶ月。初めてこのような研修会に参加させていただきました。

これまでの経験に基づいた事例を、たくさん挙げながらの亀山幸吉先生のお話は、介護に携わる者の心の在り方を学ばせていただきました。また交流会においては、介護・福祉施設で従事している方々のご苦労、ボランティアの関わり方の難しさなどを知ることができました。

自然災害や芸能人の不祥事が多く起こった昨今、「ボランティア」という言葉を連日耳にしました。

「無報酬」、「奉仕」ということで美化されがちですが、今回の研修会を通して「ボランティア」の大切さと難しさを考えさせられました。

いずれにしましても、活動をする側の個人的な利害であってはいけないということを思いました。

